

情 報 公 開 文 書

研究の名称	非心臓胸部手術後における心電図モニタリング終了判断の実態と関連因子に関する後方視的検討
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 （所属・職名および氏名）	富山大学附属病院 呼吸器外科 教授 土谷智史
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 肺の手術（肺切除術）を受けた後には、心臓の不整脈（心房細動など）が起こることがあり、特に手術後 2～4 日目に多く発生することが知られています。これまでの指針では、手術後少なくとも 48 時間の心電図モニタリングを行うことが提案されていますが、実際にどのくらいの期間モニタリングを行うべきかについては十分な根拠がなく、各施設・各医師の判断に委ねられているのが現状です。 本研究では、心臓以外の胸部の手術（主に肺の手術）を受けた患者さんを対象に、手術後の心電図モニタリングがどのくらいの期間行われているか、また、モニタリングを終了する判断にどのような要因が関連しているかを、診療録（カルテ）の情報をを用いて後ろ向きに調査します。新たに検査や治療を行うことはありません。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2029 年 12 月 31 日 【研究対象者】 2023 年 1 月から 2025 年 12 月までの間に、富山大学附属病院呼吸器外科で心臓以外の胸部の手術（肺の手術など）を受け、手術後に心電図モニタリングが行われた患者さんを対象とします。 【研究資金、利益相反の状況】 本研究に関係する企業等は存在しないため、本研究において申告すべき利益相反はありません。 【個人情報の取扱い】 本研究で取得した診療情報は、氏名や診療録 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用識別番号を付与したうえで管理します。研究用識別番号と診療録 ID との対応表は、呼吸器外科医局の専用パソコン内に別途保管し、インターネットに接続しない環境でパスワードにより管理します。研究資料は研究結果の最終公表から 10 年間保管した後、復元できない方法で廃棄します。研究成果を学会や論文等で発表する際にも、個人が特定されることはありません。

	【研究結果の公表の方法】 本研究で得られた成果は、学会発表や学術論文等により公表する予定です。なお、公表に際しては、研究対象者個人が特定されることはありません。 【試料・情報の他機関への提供有無】 無 【外国にある者への提供について】 該当なし
②利用又は提供する試料・情報の項目	【試料・情報の項目】 本研究では、診療録（カルテ）に記載された情報を利用します。主な項目は、年齢、性別、身長、体重、体格指数（BMI）、既往歴（高血圧、糖尿病、腎臓の病気、不整脈など）、血液検査結果、呼吸機能検査の結果、手術に関する情報（術式、手術時間、出血量など）、手術後の心電図モニタリングの開始日・終了日、心電図上の所見（不整脈の有無など）、手術後の経過（ドレーンの留置期間、入院期間、合併症、再入院の有無など）です。なお、本研究で新たに採血や検査を行うことはありません。
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 2026 年 09 月 01 日
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	富山大学附属病院呼吸器外科において、通常診療の過程で取得された診療録（カルテ）情報（手術記録、検査結果、心電図モニタリングの記録、術後経過の記録等）を用いて情報を収集します。新たに試料採取や追加検査を行うことはありません。
⑥利用する者の範囲	本研究は富山大学附属病院単施設で実施し、他機関への試料・情報の提供は行いません。

⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究機関への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：076-434-7371 FAX：076-434-5032 E-mail：naru@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：富山大学附属病院呼吸器外科 北出 成